

授業科目名	商業簿記論Ⅳ		科目コード	573		
開講クラス	総合ビジネス科	コース	会計実務コース	学 年	1 年	
担当教員	高橋 洋輔					
	実務経験教員 (<input checked="" type="radio"/> 有) ・ 無) 実務経験内容 会計事務所等勤務					
開講時期 1コマ90分	前期・ <input checked="" type="radio"/> 後期・通年・特別講義・その他			授業コマ数	32 コマ	
	必 須 ・ 選 択 ・ <input checked="" type="radio"/> 選 択 必 須			時 間 数	64 時間	
使 用 テキスト 1	書 名	合格テキスト日商簿記 2 級商業簿記				
	著 者	TAC(株)				
	出版社	TAC(株)出版事業部				
使 用 テキスト 2	書 名	合格トレーニング日商簿記 2 級商業簿記				
	著 者	TAC(株)				
	出版社	TAC(株)出版事業部				
参考図書						
授業形態	<input checked="" type="radio"/> 講義 ・ <input checked="" type="radio"/> 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ()					
<授業の目的・目標> 高度な商業簿記修得し、財務諸表の数字から経営内容を把握できるよう取り組み、日本商工会議所簿記2級取得をめざす。						
<授業の概要・授業方針> 連結会計の内容を通して、大企業における資本連結や成果連結の意味や意義を理解する。 連結精算表を理解し、連結決算時の会計処理を把握する。						
<成績基準・評価基準> 出席状況、期末試験、日商簿記2級取得に向けた取り組みなどで総合評価する。						
<使用問題集・注意事項>						
<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他>						

授業科目名	商業簿記論Ⅳ	
回	授業内容	備考
1	課税所得の算定	
2	差異の発生と解消	
3	税効果会計とは	
4	税効果会計の対象（一時差異と永久差異）	
5	税効果会計の会計処理	
6	将来減算一時差異	
7	その他有価証券評価差額金にかかる税効果会計	
8	税効果会計の仕訳について	
9	株式会社とは	
10	株式の発行	
11	株式申込証拠金	
12	利益剰余金の配当と処分とは	
13	株主資本等変動計算書	
14	決算とは	
15	損益計算書と貸借対照表の作成	
16	商品販売業（仕入・売上の計上基準）	
17	サービス業（役務収益と役務原価の計上基準）	
18	本支店会計とは	
19	本支店間取引（内部取引）	
20	決算手続・振替	
21	本支店合併財務諸表（合併 F/S）の作成	
22	合併とは	
23	事業譲渡とは	
24	連結財務諸表	
25	支配獲得後の連結	
26	連結精算表	
27	支配獲得後 1 期目・2 期目の処理	
28	成果連結と連結修正仕訳	
29	内部取引高と債権・債務の相殺消去	
30	期末棚卸資産に含まれる未実現利益の消去	
31	秘償却有形固定資産（土地など）に含まれる未実現利益の消去	
32	製造業会計	